

鞍骨壮年会で鞍骨山を登山

6月15日(土)に鞍骨壮年会(蓮間俊光会長)14名で、長野県千曲市倉科地区の鞍骨山(標高798m)を登頂しました。山頂には石垣を積上げた堅固な鞍骨城跡があります。倉科地区自治会及び史跡保存会の杉本さんの案内で城跡を見学後、それぞれの地区の概要と歴史を説明し、自治会長及び市議会議員を交え交流を深めました。来年は、倉科地区の自治会が氷見市を訪問する予定です。今後も、同じ地名を持つ地区として交流をしていきます。



▲鞍骨城跡の石垣

◀鞍骨壮年会の参加者

第8回仏生寺地区住民交流カローリング大会

11月10日(日)住民交流カローリング大会が旧仏生寺小学校体育館で開催されました。34チーム130名余りの参加がありました。カローリング大会では、毎回、防災訓練の一環として、豚汁とアルファ米の炊き出しを行い、大会参加者の昼食に提供しています。炊き出しは、仏生寺社会体育推進協議会女性部の皆さんの指導により、各集落の輪番制で実施しています。本年は惣領地区、鉾根地区に協力いただきました。

◎大会の成績

優勝 上中・吉池A
次勝 惣領A
三位 大覚口A

- ・主催 仏生寺公民館
- ・共催 仏生寺地域づくり協議会
仏生寺自治振興委員会



▲炊き出し訓練の様子



▲豚汁とアルファ米



にゅーす 仏生寺地域づくり News

第13号

発行/編集: 仏生寺地域づくり協議会 氷見市惣領2010番地 (JA 仏生寺 2F)

発行日: 令和2年1月1日

富山県知事が仏生寺を視察

10月8日(火)、富山県が中山間地域創生総合戦略(仮称)の策定にあたり、知事が現場を訪問し、地域の方々と車座での対話を通じて、現場の声をきめ細かく総合戦略に反映することを目的とした「中山間地域未来創生ミーティング」が氷見市において実施されました。

この現場視察として、石井知事が、旧仏生寺小学校を視察に訪れました。仏生寺地区が現場視察に選ばれた理由は、昨今、学校の統廃合が進む中、廃校になった旧仏生寺小学校体育館が仏生寺地域づくり協議会が中心となり、カローリング、学童保育、地元小・中学校のハンドボールの練習場、バドミントン、バスケットボール等に、ほぼ毎日利用されているからです。

屋敷会長の案内で、まず、クラブハウスに入り、ここでは、学童保育の学習室や地域の集会場として利用していることを説明しました。

仏生寺の先賢、斎藤弥九郎、南弘両先生の肖像画、写真、額等を見ていただきました。また、発行したばかりの仏生寺の先賢の冊子も謹呈しました。



▲知事に説明する屋敷会長



▲カローリング大会を見学する知事

次に、体育館に入られた知事に、仏生寺地区長寿会のカローリング大会を見学していただきました。自らもカローリングのジェットローラ投球を初体験されました。このあと、旧校舎のラボ水族館を視察されました。

仏生寺の視察の後、会場を民宿イミグレに移動し、中山間地域の活性化をテーマに車座で、知事、氷見市長、氷見市の県議会議員、屋敷会長ほか11名の市民が参加して意見交換会が行われました。このあと、同じ場所で夕食懇談会もありまし



▲投球の指導を受ける知事

仏生寺地区防災訓練を実施

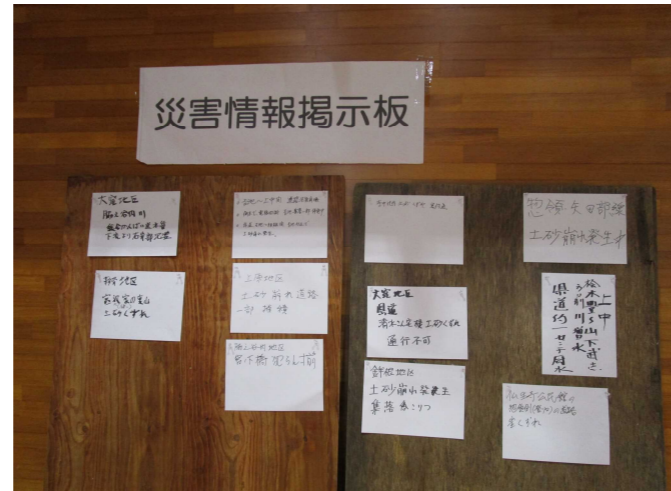
10月20日（日）仏生寺地区の防災訓練を行いました。本年は、7時頃、富山气象台から仏生寺地区に大雨警報及び土砂災害警戒情報が発表され、8時10分に氷見市から河川氾濫や土砂災害の発生する可能性が高まったので、避難勧告が発令されたことを想定した訓練を実施しました。



▲根山会長のあいさつ

避難所に到着後、災害情報を掲示板に貼り出し、避難者名簿を本部に報告しました。その後、根山自主防災会長、市防災危機監理監の挨拶があり、屋敷防災士から、气象台や氷見市等から発表される、防災気象情報や避難情報について説明がありました。

氷見市から仏生寺地区自主防災会長（自治振興委員長）の携帯電話に避難勧告の連絡があり、会長は直ちに各集落の区長に避難勧告を伝達し、連絡を受けた区長は、情報伝達班長、避難誘導班長に近隣住民を十三中学校に避難するよう伝達する情報伝達訓練を行いました。



▲災害情報掲示板

避難所運営・救護訓練として、毛布と2本の棒で簡易担架を作る体験、非常用発電機の始動し、避難所を照明する体験、AEDの使い方体験、ファミリールーム（個室テント）の設置・使い方体験、アルファ米をお湯と水で炊き出す体験をしました。最後にグラウンドにおいて、消火器を使った消火訓練も行いました。



▲簡易担架づくり体験の様子



消火訓練の様子▶



▲AEDの使い方体験の様子



▲アルファ米炊き出し体験の様子



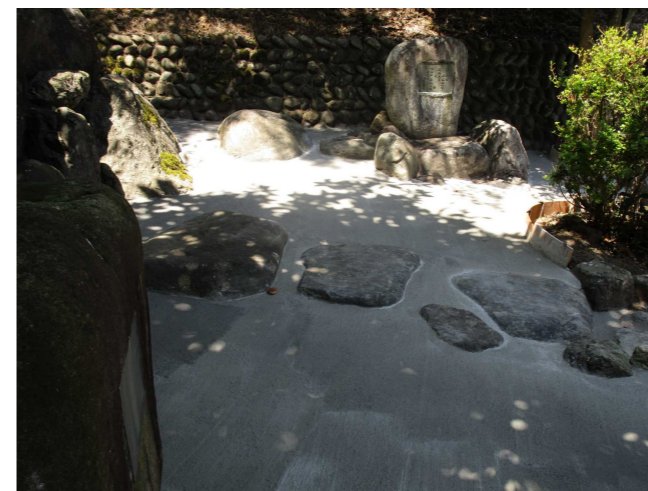
▲非常用発電機の始動体験の様子

おらっちゃ創生支援事業

◆郷土の先賢「斎藤弥九郎と南弘先生」冊子の編集作業が6月から始まり10月上旬に2000部を作成しました。10月末に、十三中学校校区に全戸配布しました。また、10月7日に氷見市役所を訪問し、中学校等の歴史授業や氷見市の交流イベント等に活用してもらうため、500部を寄贈しました。また、10月11日に十三中学校を訪問し、生徒の歴史授業や先生方の研修会等で活用してもらうため200部を寄贈しました。



▲冊子を市長に贈呈する様子



▲「斎藤弥九郎・南弘両先生 生誕之地」碑（コンクリート補修後）

◆旧仏生寺小学校広場入口広場に、斎藤弥九郎・南弘両先生の生誕地記念碑があります。ここは、コンクリート舗装してありましたが、老朽化で危険なことから、コンクリート舗装をやり直し工事を行い、8月上旬に完成しました。

◆平成26年に、カラーリング用具7セットを購入しましたが、想定以上に利用者が多く、ジェットローラ用ホイールの摩耗が進み交換が必要になったことから新品を購入しました。

◆現在、ホームページの作成を進めており令和2年3月までに皆さんに公開できるよう準備をしています。



◀ジェットローラのホイール

